

第37回 吹奏楽指導者認定試験要項

公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）は、下記のとおり吹奏楽指導者認定試験を行います。

1 認定試験の目的

吹奏楽指導者の知識及び技能を客観的に評価判定することにより、吹奏楽指導者としての社会的資格を認定するとともに、指導者の進歩向上に資する。

2 認定試験の種類

- (1) 公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会認定 **1級吹奏楽指導者**
- (2) 公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会認定 **2級吹奏楽指導者**
- (3) 公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会認定 **3級吹奏楽指導者**

3 日 時 令和7年12月29日（月）13時30分 試験開始（13時10分 受付）

4 会 場 明浄学院高等学校（大阪府大阪市阿倍野区文の里3丁目15番7号）

5 主 催 公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）

6 協 力 明浄学院高等学校吹奏楽部

7 受験資格 満18歳以上の吹奏楽指導経験者で、それぞれ下記事項を満たしている者、またはこれと同等の資格を有しているとJBAが認めた者とする。

- (1) 1級：JBAの会員で、かつJBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール上級コース（過去の開催分を含む）」を修了し、2級（旧中級）認定に合格している者。
- (2) 2級：JBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール上級または中級コース（いずれも過去の開催分を含む）」のいずれかを修了（または修了見込み）した者。
- (3) 3級：JBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール（過去の開催分を含む）」のいずれかのコースを修了（または修了見込み）した者。

8 試験内容 次の5科目を実施する。ただし、3級認定は、(1)、(4)、(5)のみ実施する。

(1) 理論筆記試験

楽典、吹奏楽の歴史、楽器論、楽曲の研究等吹奏楽指導に関するあらゆる分野から出題する。

参考資料：秋山紀夫著 『吹奏楽曲プログラム・ノート』（発売元：エイト社）

『吹奏楽曲プログラム・ノート2』（発売元：ミュージックエイト）

(2) 編曲作品試験

次の課題曲について、参考編成表のとおり編曲し、スコアを提出する。（但し打楽器は自由。）

課題曲は、当協会ホームページからダウンロードしてください。

- ・ 1級：次の2曲から1曲を選び、吹奏楽に編曲してください。

《Jesu, meiner Seelen Wonne》(J. S. Bach)

ト長調（長2度下）で編曲してください。常に tutti にするのではなく、和声、歌詞などといった点で、音楽の脈絡を考慮した編曲をしてください。テンポ、ダイナミクス、アーティキュレーションは、自身で設定してください。

《An die Musik》(F. Schubert)

独唱部分も含めてください。1番のみとします。（繰り返して2番も編曲してもかまいませんが、その際は、反復記号は用いず、オーケストレーションの工夫をしてください。）なお、装飾音符を実際の演奏に即して書き改めてありますので、一部、Schubert の原曲譜とは異なる箇所があります。

- ・ 2級：次の2曲から1曲を選び、吹奏楽に編曲してください。

《Komm, Gott Schöpfer, heiliger Geist》(J. S. Bach)

テンポ、ダイナミクス、アーティキュレーションは、自身で設定してください。

《Wiegenlied》(F. Schubert)

独唱部分も含めてください。1番のみとします。(2番、3番を加えて編曲してもかまいません。その際は、反復記号は用いず、オーケストレーションの工夫をしてください。)

【編曲作品作成に際しての注意】

- ・ 編曲作品は、令和8年1月15日(木)必着で郵送にてJBA事務局宛に提出のこと。
- ・ 編曲作品作成(スコア作成)に際して、コンピューター等で使用する楽譜作成ソフトを使用してもよい。
- ・ 楽譜作成ソフトを使用した場合は、楽譜をプリントアウトして、JBA事務局に郵送すること。

(3) 合奏実技試験

楽曲のスコアを試験直前に提示し、それを一定時間(約10分)見た後、モデルバンドを指揮しながら楽曲をまとめる。なお、合奏中に楽譜の誤りについても、的確に指摘・修正を行う。

(4) 指揮実技試験

以下の課題曲の当日指定する部分をモデルバンド(明浄学院高等学校吹奏楽部)で指揮する。

(3級はピアノ伴奏) ※各級ともスコアは各自で用意すること

- ・ 1級：Ralph Vaughan Williams 作曲「イギリス民謡組曲」(BOOSEY&HAWKES 版)
- ・ 2級：Ralph Vaughan Williams 作曲「イギリス民謡組曲」(BOOSEY&HAWKES 版)
- ・ 3級：齋藤秀雄著『指揮法教程』(音楽之友社) 練習題 No.1、No.2の内1曲

(5) 小論文試験

次の課題について、それぞれ指定された字数で小論文を作成し提出する。

- ・ 1級：公立中学校の部活動改革に関するスポーツ庁と文化庁の有識者会議は、昨年末の中間報告において、今後平日の部活動を地域に広げる方向性を示しました。各市町では地域展開に実施にむけ、様々な取り組みが行われているところです。子どもたちの持続可能な活動を実現する体制を考えることが重要です。居住されている市町村(自治体)での取り組み、実践事業などを参考に、指導者としてビジョンを明確に示し、休日と平日の展開の課題を見据え、理想とする地域展開、それに基づく運営法、吹奏楽指導法を論じなさい。
字数は、4000字(400字詰原稿用紙換算10枚程度とする。横文字数40文字で作成、最後に40文字×行数・総文字数を明示すること)
- ・ 2級：公立中学校の部活動改革に関するスポーツ庁と文化庁の有識者会議は、昨年末の中間報告において、今後平日の部活動を地域に広げる方向性を示しました。各市町では地域展開に実施にむけ、様々な取り組みが行われているところです。子どもたちの持続可能な活動を実現する体制を考えることが重要です。居住されている市町村(自治体)での取り組み、実践事業などを参考に、指導者としてビジョンを明確に示し、理想とする地域展開、それに基づく運営法、吹奏楽指導法を論じなさい。
字数は、2400字(400字詰原稿用紙換算6枚程度とする。横文字数40文字で作成、最後に40文字×行数・総文字数を明示すること)
- ・ 3級：公立中学校の部活動改革に関するスポーツ庁と文化庁の有識者会議は、昨年末の中間報告において、今後平日の部活動を地域に広げる方向性を示しました。各市町村(自治体)では地域展開に実施にむけ、様々な取り組みが行われているところです。子どもたちの持続可能な活動を実現する体制を考えることが重要です。居住されている市町村(自治体)での取り組み、実践事業などを参考に、指導者としてビジョンを明確に示し、理想とする地域展開、それに基づく運営法、吹奏楽指導法を論じなさい。
字数は、1600字(400字詰原稿用紙換算4枚)程度とする。

【小論文作成に際しての注意】

- ・論文は、令和8年1月15日（木）必着で郵送にてJBA事務局宛に提出のこと。
- ・様式は自由とする。ただし、必ず用紙を用いて作成（PC等を使用した場合は必ずプリントアウト）したものを提出すること。
- ・小論文作成に際して、Chat GPT等の生成系AIの使用は認めない。
- ・小論文作成に際して、出版物（書籍等）やウェブページ等の文章（書籍・論文・ウェブページ）を、出典（著作者名）などを示さずそのまま用いたり、他人が作成した文章を自分の文章であるかのようにみせかける（代筆）といった剽窃（盗用）行為は禁止する。

〔剽窃行為とみなされうる事例〕

- ・出版物（書籍、雑誌、新聞等）やウェブページの文章や資料を、出典を示さずにそのまま用いる、あるいは語句を若干変更しただけで、あたかも自分で作成したような小論文を作成すること。
- ・小論文中で、文章や資料を引用した際に、引用した箇所を「 」などで具体的に明示せずに使用すること。なお、「〇〇参照」というように曖昧にしか触れないものは「明示した」とはみなされない。
- ・他人が作成した文章を、そのまま、あるいは語句を若干変更しただけで、あたかも自分が作成したかのようにみせかけて、小論文を作成すること。
- ・生成系AIが作成した文章を、そのまま、あるいは語句を若干変更しただけで、あたかも自分が作成したかのようにみせかけ、小論文を作成すること。なお、小論文作成に際して、生成系AIの使用は認めない（上記参照）。

9 受験料（消費税込）

受験級 受験科目	1 級	2 級	3 級
理論筆記試験	5,500円	5,500円	4,400円
編曲作品試験	5,500円	5,500円	
合奏実技試験	11,000円 (定員2名)	11,000円 (定員5名)	
指揮実技試験	11,000円 (定員2名)	11,000円 (定員5名)	4,400円 (定員30名)
小論文試験	3,850円	2,750円	1,650円

10 受験方法

- (1) 受験科目数：5科目（3級認定は、理論筆記試験、指揮実技試験及び小論文試験のみ）全て受験することが望ましいが、1科目だけでも受験することができる。
- (2) 認定証取得条件：認定証を取得するためには、5科目全て（3級認定は、理論筆記試験、指揮実技試験及び小論文試験のみ）に合格する必要がある。
- (3) 科目合格：各科目に合格した場合には、科目合格証を発行する。なお、従来あった科目合格証の有効期限（5年）の規定は廃止する。
- (4) 理論筆記試験参照可能物：3級の理論筆記試験では、以下の指定された参考資料の持込を可とする。
秋山紀夫著『吹奏楽プログラム・ノート』（エイト社）
秋山紀夫著『吹奏楽プログラム・ノート2』（ミュージックエイト社）
『JBA主催・吹奏楽ゼミナールテキスト』（過去の開催分を含む）
なお、2級と1級の理論筆記試験は、資料の参照は一切不可とする。

11 合否の判定及び発表

合否の判定は、所定科目の成績を総合して判定し、受験者に書面を以って合否を通知（令和8年2月頃）し、合格者に対しては認定証を発行する。

1.2 審査員（予定）

ダグラス・ボストック、荒井富雄、池上 達、伊勢敏之、伊藤康英、小野川昭博、黒尾 実、鈴木英史、萩原稔浩、馬場正英、早川英一、三浦 徹、八木澤教司、山本真理子

1.3 受験申込方法

(1) 申込方法：後掲の認定試験受験申込書に必要事項（太枠内）を記入し、**JBA事務局宛にFAXしてください。** **FAXでのお申込みに限ります。** *郵送及びメール並びにお電話での申込みは不可

(2) **申込受付開始日時：11月4日（火）11時00分**

(3) **申込締切：12月11日（木）23時59分必着**

※ただし、合奏実技試験及び指揮実技試験については、定員になり次第締め切ります。

(4) 申込受付受理：受験申込みを受理された方には、JBAより申込受付票及び郵便振替払込取扱票を送付いたします。

(5) 受験料の支払い：(4) で送付した郵便振替払込取扱票により払込書に記載の期日までに郵便局またはゆうちょ銀行で受験料を払い込んでください。

(6) キャンセルポリシー

①期日までに受験料の入金が確認できない場合は、受験することができませんので、ご注意ください。ただし、この場合もキャンセル料は発生いたしますので、ご注意ください。

②やむを得ずキャンセルされる場合は、JBA事務局へメールで必ずご連絡ください。キャンセルの場合は、以下のとおりキャンセル料が発生いたしますので、ご了承ください。

連絡なくキャンセルされた場合は、今後の認定試験への申込みをお断りする場合がございますので、ご了承ください。

期 間（申込完了から）	キャンセル料
12月11日（木）17時まで	受験料の30%
12月11日（木）17時から、12月22日（月）17時まで	受験料の50%
12月22日（月）17時以降または連絡なしの不参加	受験料の全額

1.4 その他

地震などの天災によって、やむをえず吹奏楽指導者認定試験が中止となった場合は、JBAホームページでお知らせいたします。既に受験申込を完了された方にはメール等でお知らせいたします。

1.5 お申込み・お問合せ

公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）

東京都千代田区九段北4-2-4 千修ビル内（〒102-0073）

TEL/FAX（03）5275-5618（お電話でのお問合せは、月～金11:00～17:00）

メールアドレス info@jba-honbu.or.jp

■適格請求書発行事業者登録番号：T2010005017499

<参考編成表>

Piccolo, Flute(1・2), Oboe, Bassoon, E♭ Clarinet, Clarinet(1・2・3), E♭ Alto Clarinet, B♭ Bass Clarinet, Alto Saxophone(1・2), Tenor Saxophone, Baritone Saxophone, B♭ Cornet or Trumpet(1・2・3), F Horn(1・2・3・4), Trombone(1・2・3), Euphonium, Bass or Tuba, String Bass, Timpani, Percussion(S.D, B.D, Cym, Gl, etc)
--

吹奏楽指導者認定試験 過去出題問題は、

当協会ホームページ <http://www.jba-honbu.or.jp> をご覧下さい。

第37回 JBA吹奏楽指導者認定試験 受験申込書

受験番号	
受付日	令和7年 月 日

※太枠内のみご記入ください。

受験級 (いずれかに○)	1 級	2 級	3 級		
受験科目 (いずれかに○)	理論筆記	編曲作品	合奏実技	指揮実技	小論文 (計 科目)
合格科目申告(年月) 科目合格証添付 ※科目合格証を併せてFAXする	理論筆記	編曲作品	合奏実技	指揮実技	小論文
	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月
ふりがな					JBA会員番号
氏 名					(会員のみ)
生年月日	年 月 日 (才)				
連絡先	住所 (〒)				
	自宅 ・ 勤務先 (いずれかに○)				
	携帯電話			FAX	
メールアドレス					
職業 勤務先					
指導経歴					
吹奏楽ゼミナール 修了申告	今回修了見込みの方 < マスタークラス (上級) ・ 中級 ・ 初級 > コース 第____回を修了された方 < 上級 ・ 中級 ・ 初級 ・ 入門 ・ 学生リーダー > コース				
備考					

※このページを印刷して、ご使用ください。

※必要事項(太枠内)を記入し、JBA事務局宛にFAXしてください。

FAXでのお申込みに限ります。 * 郵送及びメール並びにお電話での申込みは不可

【申込受付開始:11月4日(火)11時】 ※申込受付開始前には送信しないでください。

【申込締切:12月11日(木)23時59分必着】

※1級及び2級の合奏実技試験及び指揮実技試験、3級の指揮実技試験については、定員になり次第申込みを締め切ります。

※受験申込みを受理された方には、JBAより申込受付票及び郵便振替払込取扱票をお送りいたします。

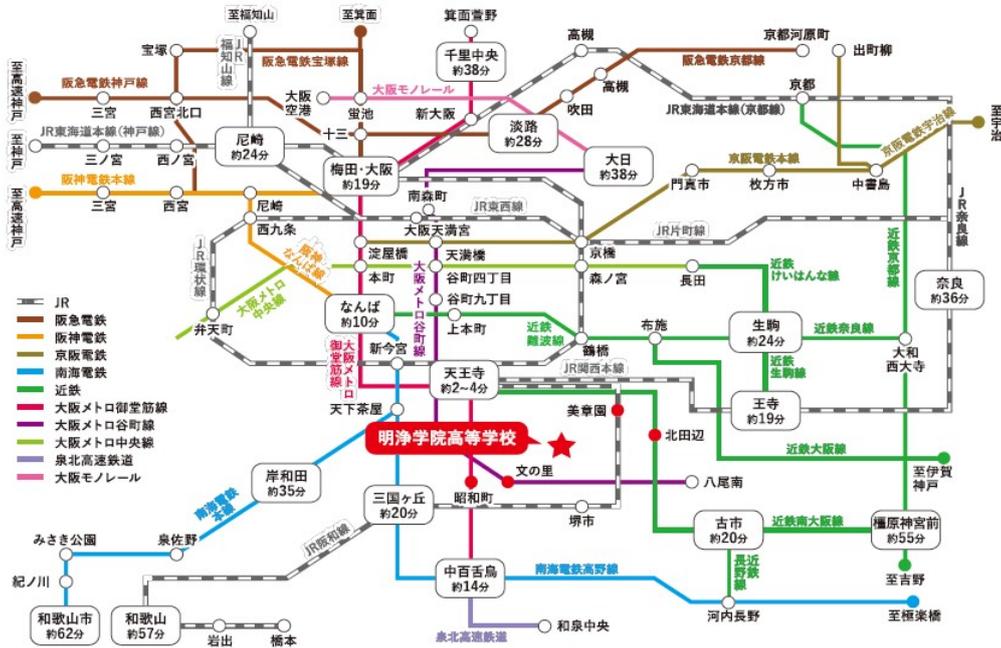
【個人情報の保護について】 お送りいただいた住所、氏名、電話番号など、個人を特定し得る情報については、認定試験の実施とそれに関わる問合せなどにものみ使用し、それ以外の目的の使用はいたしません。

【お申込み・お問合せ】

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会(JBA) TEL&FAX (03) 5275-5618

会場 明浄学院高等学校

交通アクセス



4 駅 4 路線使えます

- ・大阪メトロ谷町線「文の里」駅下車 東へ徒歩 5 分
- ・大阪メトロ御堂筋線「昭和町」駅下車 北東へ徒歩 7 分
- ・JR 阪和線「美章園」駅下車 南西へ徒歩 7 分
- ・近鉄南大阪線「北田辺」駅下車 北西へ徒歩 14 分

※お車での来校はできません。公共交通機関をご利用ください。



住所：大阪府大阪市阿倍野区文の里 3 丁目 15 番 7 号

※明浄学院高等学校のホームページをご参照ください。

<https://www.meijo.ed.jp/access/>